第１部　礼　　　拝

司式　望みの門学園　田 尻　　隆

奏楽　日本キリスト教団西千葉教会
冬 木 千 織

前　　奏	(曲目等未定)	奏　楽　者
賛　　美	讃美歌 21 ＃６「つくりぬしを賛美します」	一　　　同
主の祈り		一　　　同
聖書朗読	エフェソの信徒への手紙　１章 3−14 節	司　式　者
祈　　祷		司　式　者
賛　　美	讃美歌 21 ＃４５１「くすしきみ恵み」	一　　　同
説　　教	「感謝あふれて歌となる」	(社福)ミッドナイトミッションのぞみ会 理事長　木 下 宣 世
賛　　美	讃美歌 21 ＃４７５　「あめなるよろこび」	一　　　同
献　　金		祈祷　日本キリスト教団西千葉教会 山 中 優 花
頌　　栄	讃美歌 21 ＃２８「み栄えあれや」	一　　　同
祝　　祷		木 下 宣 世
後　　奏		奏　楽　者

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国をきたらせたまえ。
御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。
アーメン

聖書　エフェソの信徒への手紙　1章3-14節

わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の、豊かな恵みによるものです。

神はこの恵みをわたしたちの上にあふれさせ、すべての知恵と理解とを与えて、秘められた計画をわたしたちに知らせてくださいました。これは、前もってキリストにおいてお決めになった神の御心によるものです。こうして時が満ちるに及んで、救いの業が完成され、あらゆるものが、頭であるキリストのもとに一つにまとめられます。天にあるものも地にあるものもキリストのもとに一つにまとめられるのです。

キリストにおいてわたしたちは、御心のままにすべてのことを行われる方の御計画によって前もって定められ、約束されたものの相続者とされました。それは、以前からキリストに希望を置いていたわたしたちが、神の栄光をたたえるためです。あなたがたもまた、キリストにおいて、真理の言葉、救いをもたらす福音を聞き、そして信じて、約束された聖霊で証印を押されたのです。この聖霊は、わたしたちが御国を受け継ぐための保証であり、こうして、わたしたちは贖われて神のものとなり、神の栄光をたたえることになるのです。　　　　　　（『新共同訳聖書』による ）

第２部 演奏交歓（賛美のささげもの）

1　日本アライアンス教団 千葉キリスト教会

指揮・伴奏　山中ゆりか

「主よこの時代に」　(中世のアンティフォン)

「しずけき河のきしべを」　作詞 ボレイショ・G・スパフォード

作曲 フィリップ・P・プリス (編曲 大竹海二)

「God Bless You」　作詞 関根一夫　 作曲 岩渕まこと (編曲 白石哲也)

> 私たちの聖歌隊は、教会の毎年の目標聖句に沿って1年間練習する曲が決まります。今年は「祈りの生活を充実させる」がテーマです。どこの教会でも男声が少ないのが課題だと思いますので、今回は混声3部と混声2部で歌います。
>
> 聖歌隊の1年間の歩みはイースターに始まり6月の伝道礼拝、10月の研修会で特別賛美をします。そして、11月召天者記念礼拝、12月のキャンドルサービスと礼拝後の約1時間の練習で奉仕を重ねてきました。今後もコツコツと続けていきたいと思います。

2　日本キリスト教団 美浜教会

指揮　寺田りりか　　 伴奏　山内里枝

「神はその独子を賜うほどに」　作詞 Johon Stainer　(訳詞 和田健治)

「みたまなるきよきかみ」(54年版讃美歌500番)

作詞 C.Austin Miles　 作曲 John Bell

> 美浜教会は今年で43年の歴史があり、2021年に新会堂を献堂することが出来、少しずつ新来者を迎え40名に近づきそうな小さな教会です。
> 今回の音楽祭に参加するのは、聖歌隊として活動していたメンバーと新たに加わってくれた仲間です。日曜礼拝後が主な練習時間で、指導者はいませんが、気がついた点を言いあってより良いハーモニーを目指し練習しています。

3　日本キリスト教団 千葉教会

指揮　岩井和子　　伴奏　羽田恵子

「主の祈り」(新聖歌 54 番より)　　作曲 Albert. H.Malotte

「 His Eye Is on The Sparrow 」(新聖歌 285 より)

作詞 Civilla D.Martin

作曲 Charles H.Gabriel

　千葉教会聖歌隊は、クリスマス礼拝、イースター礼拝、夏の音楽礼拝で賛美の奉仕をしています。教会音楽祭のための曲は時間をかけて練習しています。

　聖歌隊員はみな高齢になりましたが、歌っている曲の歌詞や旋律から慰めと力を頂いています。

4　千葉英和高等学校 聖歌合唱部

指揮　青栁 潤　　　伴奏　松浦富美

「こんなに美しい朝に」　作詞 水野源三　作曲 武 義和

「慈しみがありますように」　作詞 ジョン・ラター　(訳詞 那須輝彦)

「喜びが集まったよりも」　作詞 水野源三　　作曲 なかにしあかね

　1946 年旧下志津陸軍飛行学校跡に始まった聖書学園は、神様の恵みの中、今年で創立 79 年を迎えます。聖歌合唱部は毎週、学校礼拝での賛美リードを活動の中心とし、教会での賛美礼拝や病院でのコンサートにお招きいただき奉仕活動をしております。また、12 月 20 日に行われる「英和のクリスマス」では、聖歌合唱部も参加し、音楽付ページェント劇を一般公開いたします。どうぞお越しください。

　本日は、創立当初よりの賛美の歌声に満ちた学園の伝統を引き継いで、皆様に賛美の声をお届けします。

5　カトリック 西千葉教会

指揮　芹澤 恵　　伴奏　野上智寿子

「希望の巡礼者」　作詞　Pierangelo Sequeri　(訳詞 日本カトリック司教協議会)

「シャローム」　作詞　有馬鈴英　　作曲　菊谷卓也

2025年、私たちは25年に1度という聖なる年を祝っています。どこのカトリック教会でも歌われている～2025年「聖年」の賛歌～『希望の巡礼者』を、今年は是非演奏したいと思います。もう1曲は世界の平和を願い『シャローム』を歌います。この特別な恵みのうちに私たちひとりひとりがこの世におけるまことの希望のパン種になることができますように。今年もひとつ新たな挑戦をしてみました。お楽しみに！

≪ 休憩 ≫

6　女性自立支援施設 望みの門学園

指揮　木下勝世　　伴奏　俊野まり子

「みんなで花園」　作詞・作曲　山内修一

「あしたに夕べに」　作詞・作曲　W.A.Shawker

「種をまこう」　作詞・作曲　木下勝世

望みの門学園の今年の年間標語に「涙と共に種を蒔く人は、喜びの歌と共に刈り入れる。」(詩篇126篇5節)が与えられました。私たちは一人ひとり悲しみや苦しみ、先の見えない不安を抱え、日々思い煩いや心配事と戦っています。けれどもそのような悲しみや思い煩いはいつしか終わるだけではなく、喜びに変わると聖書は語ります。私たちはそのことを信じ、すぐに答えを求めるのではなく、種をしっかりと受け止め、喜びに向かい、じっくりと守り育みたいと思います。

今日はこの年間標語を覚えて賛美を致します。

7　SDA 千葉キリスト教会 賛美アフタヌーン･ブレーメン

指揮　丸山敦子　　伴奏　白鳥 俊

「わが子 Ⅱ」　作詞　磯部豊喜　　作曲　白鳥 俊

「どんなときでも」　作詞・作曲　塚田 献

賛美アフタヌーンと一緒に賛美しますブレーメンについて少しおはなしさせていただきます。ブレーメンの音楽隊のように弱さを持った一人ひとりがそれぞれの良さと神様の力を借りて一つの音楽を創り上げています。

昨年から手話賛美も取り入れ、当教会併設の高齢者施設等に神様の賛美を届けています。歌うことが苦手な人も神様を愛する心があれば大丈夫。イエス様大好きな私たちの賛美を聞いてください。

8　日本キリスト教団 ユーカリが丘教会

伴奏　松浦富美

「球根の中には」　作詞・作曲　ナタリー・スリース

「主の素晴らしさを」(旧約聖書より)　作曲　武　義和

第 55 回千葉県教会音楽祭に参加させていただきありがとうございます。コロナ禍を挟み、参加できずにおりましたので、これを機会に継続して参加したいと思っております。現在は毎週礼拝の前に練習を行い、礼拝や結婚式などでの奉仕も再開しました。

とても嬉しいことに、来春には歴史あるパイプオルガンを譲り受けることになり、搬入を予定しています。パイプオルガンの響きに合わせて賛美できるのを今から楽しみにしています。

9　日本キリスト教団 西千葉教会

指揮　木下勝世　村上雅子

「神さまがキミを」　作詞・作曲　木下勝世

「もとめなさい」（「マタイ福音書によるクリスマス組曲」から）

作詞・作曲　木下勝世

「愛の衣」(2025 教会主題聖句による)　作詞・作曲　木下勝世

日本キリスト教団西千葉教会は、今回、この音楽祭の幹事教会として準備に当たってきました。今回から新しい運営要綱に従っての運営となり、皆さんのご協力でこのようにして第 55 回の千葉県教会音楽祭を開催できました。感謝します。

私たちの教会は昨年創立 120 周年を迎えました。コロナ下での活動の制約が解け、聖歌隊もほぼこれまでと同様の活動を再開しています。高齢化等による隊員の減少はありますが、励まし合い、祈り合って奉仕に励んでいます。

第３部　フィナーレ

幹事教会代表挨拶

北ブロック代表挨拶

次回幹事教会代表挨拶

全員合唱　「すくいの道を」(讃美歌 21#409)

作詞 由木 康　　作曲 高田三郎

伴奏 冬木千織